

令和8年度 第2学年 技術科 年間指導計画 予定年間授業時数： 35時間

使用教科書：東京書籍「新しい技術・家庭 技術分野」

使用副教材：進学社「技術・家庭ノート 技術分野」

教科の学習目標：ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	4編1章 情報モラルと知的財産 3編1章 エネルギーの変換・利用と保守点検 (電気を安定的に供給するための仕組みを知ろう、電気エネルギーの変換と利用方法を知ろう、動きを伝達する仕組みを知ろう、機器に使われている部品を知ろう、機器の保守点検の重要性を知ろう、機器を安全に使用しよう、身の回りの機器について調べよう)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を扱う際のルールとマナーなどのモラルの必要性を知り、情報の適正な利用について考える。 ・エネルギーの変換方法と伝達方法を知る。(機器の保守点検と事故防止、発電方式の特徴と課題、電気エネルギーを変換する仕組み、動きを伝達する仕組みとその特徴、リンク装置・カム装置、個々の部品と共通部品の違い、電気による事故の原因と防止方法)
2	3編2章 製作品の設計・製作 1 エネルギー変換を利用した製作品を作ろう 3編3章 社会の発展とエネルギー変換の技術 生物育成1章 動物・水産物を育てる技術	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換を利用した製作品を製作する。(工具、回路計の正しい使い方を知る。製作品の部品表、製作工程表を作成する。材料を準備する。部品加工をする。組み立て、調整をする。完成した製作品を評価する。) ・動物・水産物を健康に育てるための技術について理解する。
3	情報の技術 4編1章 コンピュータの仕組み・情報セキュリティ 4編2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会を支えている情報の技術について理解する。 ・デジタル作品を設計・制作する。(構想をまとめる。制作工程表をかく。素材の準備と加工をする。素材を統合し、製作品を仕上げる。製作品の自己評価と修正をする。)

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点(全体に対する割合)	観点の趣旨	評価資料
観点1 (33%) 知識・技能	<p>設計に基づき、安全を踏まえた製作品の組み立て・調整や、電気回路の配線ができる。</p> <p>社会で利用されている機器等における、エネルギーの変換、制御、利用についての知識を身に付けている。</p> <p>情報を扱う際のルールとマナーなどのモラルの必要性についての知識を身に付けている。問題解決に向けたデジタル作品を制作ができる。</p>	<p>実習作品</p> <p>定期テスト</p> <p>技家ノート (達成状況)</p>
観点2 (33%) 思考・判断・表現	<p>製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的および経済的側面などから設計要素を比較・検討したうえで、製作品に適したエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造や電気回路などを決定している。</p> <p>情報の適切な利用方法について考えている。問題解決に向けたデジタル作品を設計を考えている。</p>	<p>レポート</p> <p>定期テスト</p> <p>実習作品</p> <p>実習の観察</p>
観点3 (33%) 主体的に学習に取り組む態度	<p>エネルギー変換や生物育成に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的および経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。情報作品において粘り強く問題解決しようとしている。</p>	<p>授業の様子 (発言・態度)</p> <p>技家ノート (提出記入状況)</p> <p>課題 (達成状況)</p> <p>実習作品</p>